

[事業概要-1]

菜の花プロジェクトからBDF事業を展開、地域資源循環システムの構築へ

- ワークスコープでは、2007年より菜の花プロジェクトの取り組みを開始した。それは、食・農・環境事業における本格的挑戦のスタートと言えるものである。
- 2008年から成田国際空港を中核とし、周辺にある遊休地・耕作放棄地に菜の花プロジェクトを展開。さらに、成田国際空港内 レストラン・ホテル機内食工場等から廃食用油を回収し、BDF(バイオディーゼル燃料)を精製、それをホテルの送迎バスや地元農家の農業機械等に供給。
- この事業の原点には、2005年に厚生労働省からの委託を受けてはじまった「労協若者自立塾」がある。それはいわゆる閉じこもり・引きこもりと言われている、就労困難な若者たちの自立支援の取り組みである。

広大な菜の花畑



ホテルから廃食用油の回収



BDFプラント



技術研鑽に励む組合員

「菜の花が世界を救う!」に夢をたくして・・・そして、若者たちに勇気と希望を!

- F(食)・E(エネルギー)・C(ケア) 自給コミュニティーの創造と地域資源循環システムの構築をめざして活動している。
- 地域のみなさんに支えられ、ネットワークが構築でき、回収～精製～供給(給油)と一環した流通システムができてきている。

F・E・C自給圏の確立

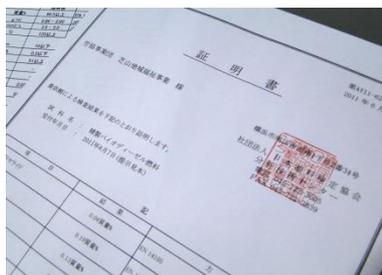
[事業概要-2]2014年度・事業実施計画

これまでの到達点の上に、さらなる発展を期して計画を遂行する!!

- バイオディーゼル製造・供給・流通に係る施設整備
10万ℓ/年ベースを展望するところまできている廃食用油を原料として、BDFの精製・供給を一層充実していきたい。今期、1000ℓ/日量規模へのBDFプラントへ拡張し、経営の安定と地域の期待に応えたい。
- バイオディーゼルの品質管理
B100のBDFを精製している。品質においては全項目クリアーという抜群の水準である。自信を持って提供している。
- 事業報告
事業の進捗状況をまとめ、成果・教訓を整理し、関係機関に報告するとともに、情報の共有を行い、事業計画を進める。



BDF 廃食用油



BDF検査結果証明書



BDF使用空港送迎バス



養蜂

ミツバチよ飛べ、蛍も飛べ、そして人間こそもっと高く飛べ!!



- 千葉県北総地区を展望した菜の花プロジェクトを展開したい!
- 養蜂・蛍・食物残渣の回収等新たな活動・事業への挑戦!
- 人と地域、生活と地域に出会いながら、新たな仕事おこしを!!

